

(様式1)

学校番号 (小・中011)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(天竜中学校) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

①休日の学校部活動地域展開 ②地域事業所への職場訪問サポート ③いじめの問題と校則の見直し ⑤桜並木の保全活動 ⑥地域ボランティア活動のサポート

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校運営が基本方針に沿って丁寧に運営されていること、生徒と先生の関係も良好であることを理解している。熟議を通じて保護者、地域、学校とのつながりの重要性を委員全体で共有している。子供たちが勉強に専念できる環境を地域で支え、人づくりの一助となるよう協議を継続したい。

tuite

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

本年度の目標についてはすべての項目で熟議している。休日の学校部活動の地域展開については、本年9月からの完全移行に向けて関係者を組織化し、生徒の体験活動等を進めていることを理解している。職場体験や地域のボランティア活動も学校運営協議会を通じて地域との橋渡しをおこない生徒のための良好な環境が構築されている。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

協議会で審議したことは天中のHPや学校だより「天中通信」で、またPTA機関紙「竜想」を通じて保護者や地域の人々に情報発信している。また校区の自治会連合会の会合の場でも適宜状況説明をして、職場体験で受け入れてくれる事業者を増やしたりボランティア活動の募集をしている。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

若干委員の入れ替えはあったが、4年目に入り委員同士の意見交換も活発にできたと思う。来年度の目標は基本的には今年度のテーマを踏襲したい。